

月刊 神戸っ子

2014年2月1日発行 第54巻 第2号
雑誌629号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可

KOBECCO

2 2014
February
vol.629

英国ゆかりの地で出会う 「ターナー展」

世界に誇る和食と日本酒
灘の酒蔵めぐり

ウォーターフロントで
潤いのある暮らし

憧憬の地、芦屋



<http://kobecco.oide.or.jp>



神戸が世界に誇る ハーバーランドの迎賓館

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド
総支配人

檜山和司さん



スモールラグジュアリーで 滞在したくなる居心地の 良さを

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランドには70の客室があり、その全てがテラスを含め70平米以上のゆつたりとしたスートルームタイプです。全客室が海に面しており、テラスでは陽光と爽やかな風を感じていただけます。今でこそ年間を通じてほぼ90%の稼働率となっていますが、開業前のリサーチで海外の人に神戸の印象を聞いてみると、神戸ビープや震災のこととは知っていましたが、神戸はどこにあるのかさえわからないという声がほとんどでした。そこで私どもが考えたのが、「ラ・スイートに泊まる為に神戸に行く」と、旅の目的地になる様な「デステイネーションホテル」をつくる事でした。その第一歩として、世界のトップホテルだけが加入を許されるスモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールドに認定されることを目指しました。

単独経営で小規模かつ高品質であることが最低条件であり、様々な項目をクリアしなければなりません。大型ホテルにはできないことを、一つひとつ丁寧に磨いていくことで、ホテルとして日本で初めて加盟が許されました。さらにミシュランガイドでも4年連続、神戸のホテルでは最高の評価をいただいています。評価をしていただくことにより、世界中に神戸を知っていただくことができます。ラ・スイートを通じて、少しでも長く神戸にご滞在いただき、その良さを感じていただく事、そしてまた来たいと思っただけの事が何よりも大切です。

開業して5年、今では全体の4割以上がリピーターのお客様です。チェックアウト時に次のご予約をされる方も少なくありません。神戸は空港や新幹線の駅が市街から近く、北野地区や南京町、旧居留地などがあり、アクセス・観光ともに良い条件が整っています。その為、ラ・スイートを拠点に大阪、京都などの観光をされるお客様も増えて

ウォーターフロントで 潤いのある暮らし

神戸ハーバーランドには日本が世界に誇る景観が広がる。その海への最前列に「ザ・パークハウス 神戸ハーバーランドタワー」が誕生する。ここで、神戸をよく知る方々に港町神戸、ウォーターフロントの魅力について語っていただいた。





70部屋のすべてがスイートルームタイプ



兵庫の五国の食材を使った、地産地消のメニュー



レストラン「ル・クール神戸」



落ち着いた雰囲気を訪れる者の心を安らげるエントランス

きました。

また平成27年には第一突堤に天然温泉浴場を備えた宿泊施設を開業する予定です。ラ・スイートは神戸市の推進するウォーターフロント事業の中核として開業しました。だからこそ今後、盛り上げ、全国に、世界に知らしめ、地元へ貢献することが我々の使命だと思っています。

レストランのコンセプトは

「地元兵庫の産物で

おもてなし」

神戸にお越しいただいたお客様へ、地元の産物を使った地産地消のおもてなしを推奨しています。兵庫県には神戸牛はもちろんのこと、猪肉、鹿肉などの天然ジビエ、豊かな土壌がもたらす野菜やフルーツ、瀬戸内と日本海両方の海の幸などが揃い、まさに食材の宝庫といえます。兵庫県はかつて、但馬・播磨・摂津・淡路・丹波の五国に分かれていました。ラ・スイートではそれにならない、1年を5つの

シーズンに分け、その時期に兵庫県で一番おいしい食材をご提供する「兵庫のテロワール 五国の味めぐりフェア」を開催しています。

私自身、ラ・スイートに来る前は、アラン・シャペル、ラ・コート・ドールなどの三ツ星レストランにおりました。本場フランスでも一流レストランは地元の食材を使う事にプライドを持っており、ラ・スイートも同様です。

ホテル開業前から総料理長には、新たな食材を探しに兵庫県のあるゆるる生産地を巡ってもらっています。今では訪ねた生産者の数も200件を超えました。開業以来、地元の食材にこだわり続け、より良い食材が提供できるように、生産者の方々とネットワークも確立されてきました。今後も、お越しいただいたお客様へ美味しい兵庫の味をお召し上がりいただくだけではなく、生産者の方々への応援もしていくという、我々の考える地産地消を続けていきたいと思っています。

スポットが点在しています。しかしそれらは線にはなっていますが、面にはなっていないように思います。京都などは行政と民間が一体となつて、元々ある観光資源プラス様々な取り組みを誘致しています。同様に神戸市、ホテル業界、観光業界が一体となり推進するプロジェクトが必要だと思っています。海岸線には、

雨の日でも濡れず海沿いを散策できる屋根付きのプロムナードや、そこにレトロな路面電車を走らせたり、街並みや建物のデザインをヨーロッパの旧市街の様にして古き良き港街の風情を演出したりと、神戸の持つ魅力をもっとうまくアピールすることができれば、フランスのキャンヌやニースにも勝る素敵な港街になると思います。

目先の利益ではなく将来的な目線で、皆で力を合わせて神戸のファンを増やしていかねばならないと思います。ラ・スイートでは料理はもちろんですが、2階にあるラウンジ&バー『グラン・ブルー』では毎晩ジャズの演奏をお聴きいただけます。美や健康、教養・芸術・音楽など様々なセミナーも開催しています。

また、観光はもちろんですがお近くの方にもっとホテルをご利用いただきたいと思えます。三菱地所レジデンス、他4社が建設中のザ・パークハウス神戸ハーバーランドタワーには、地上36階建て345世帯の方がお住まいになると伺いました。記念日プランやエステ付きプランなどもございますので、ご家族、ご夫婦、ご友人とご一緒に、週末にご自身へのご褒美としてご利用いただいたり、お客様をおもてなしする場所として、ご自身の応接室またはお庭のような感覚で立ち寄っていただけるような、神戸の迎賓館でありたいと思っています。

北野に「ル・パン神戸北野」を開業したのも、北野を更に活気づけたいという思いがありました。毎日、北野から焼きたてのパンをホテルへ運んでいます。スイーツやパンは神戸の誇るべき文化です。ル・パンへより多くのお客様にお越しいただくことや、マスコミに取り上げていただくことによって、北野エリアの活性化につながればと願っております。

世界に名立たる港街を 目指しみんなが神戸の 観光大使に

神戸にはたくさんさんの魅力ある